

刊夕日八十月八



定額 一部金五銭 二部金十銭 郵費別
廣告料 五銭 一頁 一行 金五銭
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社



童話の永遠性
いふまでもなく、童話は話の一分野だ。根ざすところは、童心にある。この意味に於いて、童話はあらゆるストーリーの中で、最も本質的なものだといへる。

× 子どものぬい社会といふものはない。古今を通じて然り。未来永極かはらぬ現象であろう。子どものあるところに童心あり。童心のあるところに童話が發生する。童話は、永遠性を有するストーリーだ。

× 大人と子どもとは違ふ。體質も違へば、精神も違ふ。あの人、子どものやうに無邪氣な、天真爛漫な人だといはれてゐる者でも、大人はやはり大人だ。子どもにはないいろいろの欲望などをもつてゐる。子どもほど純真清浄ではない。けれども、大人も子どもと同じ境地に、精神を淨化することとは出来る。そこに童心といふ言葉が用ひられたのだ。

だから、童話は、子どもの世界だけのものではない。もちろん子どもが本體だ。併し大人に用のないものとはいへない。童心の有るところ、子どもの世界にも、大人の世界にも、童話は必ず發生する。童話の永遠性は、ここに於いて、益々はつきりして來た。

× 歴史を通じて、童話のなごいといふものはなかつた様に思ふ。各國の神話や傳説を見ると、その大部分は童話だ。洗練された童話ではないにしても、多量に童話の分子を含んでゐる。また有名無名の童話作家が多くの出た事は、如何なる時代も今日と大差なかつた様に思はれる。トルストイの如く、一世の大文豪で童話の價值を認め晩年をその創作

× 小兒がひきつれた時は雪の下をもんでその汁を口にに入れてやると即効がある。に邁進した者もある。

× どうかすると、今日でも童話といへば、つまらない子どもだましの話の様に考へてゐる者がある。そうして、今までは人間の知識が底かつたから、たわいな

い話でも、面白がつて聴いた。けれども、これからの世の中では、科學が進歩して理智が鋭くなる。従つて童話の様なものはいくら子どもでも、眞面目に聴かなくなつて來る。自然に滅亡してしまふものだ——といふや

× 再言する。童話は童心の上に根ざす最も本質的なストーリーだ。永遠性を有してゐる。どれだけ文化が進んでも、科學的の知識が発達しても、人間の世界に童心の存する限り、童話がなくなる道理は絶対にない。

× 童話を荒唐無稽の笑ひ話のやうに思つたり、つまらない子どもだましの話のやうに考へたりするのは、童話の本質を知らないところから生ずる偏見だ。

× 文化が進歩して、科學的

知識が発達すれば、人間の自覺が鋭なり、人生の意義を益々深く考へるやうになる。さうなれば、童話の本質がだん／＼明らかになつて來るので、今までの偏見もなくなる。童話は却つて盛んになるものと思ふ。

【朝】煮びたし—ねぎ
【書】茶はんむし—えび
【晚】ひたし—小松菜
まびたし

【一白】如何せんと辛苦の起る凶日なれば病氣怪俄に注意して控目吉【二黒】金談に親戚知人の奔走を要する日戌亥と辰己は凶【三碧】我望事の達する吉日なれば猛進して吉を凶に變する勿れ【四綠】病氣怪俄に注意し現狀維持が吉未甲と丑寅か凶【五黄】我身屯底に陥る凶日なれば水火の難に注意【六白】公事の件に心配起る日なれば印形書附水火の難に注意【七赤】篤實以て行ひ望事達する吉日然し家内に病氣怪俄に注意【八白】望事や金談に喜悅のある東西南北は凶他は吉【九紫】金談の件より不平を起し目上と争論を引起し易ければ謙遜以て吉

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

看護婦急派
の求めに應
じます

豚 肉
鉾 蒲 田
屋三二三 町 田

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

中村齒科醫院
七 町 冶 鍛 町 平

皆様 今年の御元には何品を御撰びになりませうか。
先づこの御家庭様からも喜ばれます
京茶器と銘茶大勝園をお撰
び下さい。
茶器 入金三十八錢より
大勝園 四半斤 入金三十二錢より
三丁目
大勝園
電三九六番

愈々舊盆も近づきました御新佛の戒名
入提灯を御注文下さい
角形
經六、〇デシメートル 一對房付十五圓
五、三同 同 九圓五十錢
四、五同 同 六圓八十錢
四、二同 同 五圓五十錢
三、七同 同 四圓八十錢
三、四同 同 三圓二十錢
瓜形
經四、六同 同 三圓五十錢
經四、二同 同 二圓五十錢
三、六同 同 二圓
向御好みにより値も品も色々に調製致します。
御話下されば早速見本持參御伺致します。
平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話 九五番

新築移轉開業御披露
十四日から移轉開業いたしました！
當日「五日間」粗品呈上
御披露のため當分特に
ランチ 金三十錢也
で勉強いたします……
コックさんも東都一流のうで利きを招きました。
女給さんは美人揃ひ之れまた東京仕込みのサービス
でございます。
平町二丁目横
カフェー平樂
警察署前通り
電話 二九六番

低利資金の申込

三倍以上に達す

償還成績不良な者を除き

盆前に融通

既報平町信用組合平庶民金庫の特別低利資金年(八分)融通は時節柄申込み殺到すべしと観られた通り去る十五日の

て居る為め是れが割當貸付に就いては近く役員會を開き厳正公平に詮衡せらるゝ筈にて先づ

從來の 償還成績の不

締切日迄に組合員二百六十五名から金額六萬八千圓の申込みに接したが貸付金額は二萬圓に限定され

良なるものを除き均霑して貸付くる方針らしく舊盆前廿五日頃迄には貸付事務を開始すると

米價調製に

役立つ統計を

取扱ふ爲め訓練會

石城郡下各町村の米生産統計は今後米價調製の上効果を擧げんが爲め本年度よりは從來の調査法を一變し一層嚴重な統計調査を行ふ事になつたので昨十七日吉

田本縣統計課長及び會澤屬の一行は團體事務所樓上に於いて平町外九ヶ町村統計委員を招き事務の訓練會を行つた

菜種五千俵

郡農會の收獲計劃

石城郡内の菜種栽培は相場騰貴と土地利用に依り收入増加が人氣を博し俄然作付の激増を來たしてゐるので郡農會では明年度に於て二百町歩の作付に依り反

背網開き

古河の野球

石城郡好問村古河炭礦では

したので來る二十日午後一時より平俱樂部を迎へネット開き野球試合を行ふと

異動地減少

無届を調査

平稅務署では去月中旬から管内各町村の異動地調査中であつたが二百十六筆の無届異動地を發見直ちに手續きを取らしめた昨年よりも四十二筆の減少である

見事な優勝旗を

八百リレー優勝校へ

磐女校が新調製

磐城高等女學校では來る十月十七日の神嘗祭をトシて開催される秋季陸上大運動會の呼物たる郡下小學校女子八百米リレーレースに今年よりは優勝を授與する

事になり東京松坂屋に調製方を依頼中の所此の程出來上つたが圖案は同校圖書擔任酒井教諭の手になり頗る見事なものである

産米改良の注意と

農具の選擇使用法

特別農事の傳習會

石城郡神谷試験分場では來月四日午前九時より特別農事傳習會を開き郡山來場の本橋技手が「稻の收獲及び産米改良に就いて」加藤技手の「優良農具の選擇と使用法」等の講演がある

平商庭球

選手出發

過般縣下中等校庭球大會

に優勝の榮冠を獲ち得た平商庭球部選手安島木田、塚本本田の二組は愈々來る二十四、二十五の兩日仙臺市東北學院コートに於て開催される北日本中等學校庭球選手權大會に出場の爲め二十三日室原部長に引率され平驛午前八時十九分にて出發するが宿舎は驛前遠藤屋旅館である、尙當日迄は平俱樂部の根本、松本の兩氏

參拜敷石

改修が竣工

八幡神社祭典近頃

平町縣社飯野八幡神社の祭典は來月十五日執行されるが同社の參拜道敷石は凸凹が甚しいので氏子が發起となり過般來經費五百餘圓を以て改修工事中の所此の程出來上り祭日を待つばかりとなつた

平町人事

回出生

△二丁目三五 當時大阪市長住吉區住吉町七〇六長瀬元治郎氏長男正明
△搔槌工路四 堤五郎氏長女禮子
△搔槌小路四 堤五郎氏
△石城郡小名濱町字定西一六菊地一郎氏(三〇) 平町三丁目五八六平マサ子(二五)
△搔槌小路四 堤五郎氏(二七) 東京市本町區江東橋三丁目十岩永ふみ(二三)

回婚姻

△搔槌小路四 堤五郎氏(二七) 東京市本町區江東橋三丁目十岩永ふみ(二三)

井坂醫院

科人婦科外
町田町平
番九五五話電

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥



松前家傳 靈効散(無効返) 金ス
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸に苦しむ方、輕病、心臟、痔疾の方は是非御試下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價 試用分(八日分) 五十錢 惱症用(廿日分) 重症用(四十五日) 四十錢

販賣部 地方代理店 阿康藥舖 電話四四番

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

齒科口腔外科

日本齒科醫學士 鈴木 喜政
内鄉村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

(入院需めに應ず) 自炊の便あり

貸切の●●●

御用命は!!!

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……………(マツサキ)
三九ニタクシー!!!

秋刀魚漁製限協定

本郡漁船一致の行動を

石城郡下各漁業家は秋刀魚漁期制限が農林省會で實施と決定したので鹽釜・釜石を根據に擧つて一致の行動を取るべき各種協定を爲し違反無きを期する由にて近く打合せ會を開くと

X會員製作に精進

十月中旬の繪畫展を前に

磐中X會展覽會は来る十月中旬磐城訓盲院内に於て開催されるので部員は目下暑中休暇を利用して之が製作に精進して居る

成辰役殉難者追悼

舊平藩平安會が開催

平町舊藩平安會では来る卅一日午前十時より古鍛冶町良善寺に於いて成辰役殉難者の追悼會を催すと

微兵検査

開始

本日から 學術試験

既報石城郡下壯丁の學術試験は本日午後一時より平第一小學校講堂に於て植田、渡邊、泉の百五十四名の壯丁をトップに開始されたが試験委員は曾我第一校長外五氏、科目は國語、數學、雜問である尙明日よりは体格

無銭男

突き出さる

石城郡好間村字町田居住石工西田治三郎(四)は去る十六日豊間海岸附近の料理店大和屋方で四圓餘の無銭飲酒をなし逃走を企て家人に発見され其筋に突き出された

トマト試食

農事分場で

神谷農事試験分場では分場長齊藤泰治氏の新任挨拶を兼ね来る廿六日午後一時より同場にて在平日刊新聞記者其他關係者を招いてトマト試食會を催すと

赤井果樹協定

石城郡赤井村果樹組合では廿一日午後一時より村役場内に於いて共同出荷の協定及び新組員勧誘等について打合せると

共倒れの外ないと

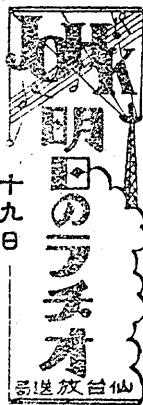
藝妓屋組合が悲鳴

遊興税の減額を運動

平藝妓屋組合の本年度遊興税は大體八千圓見當と豫想されて居るが組合では玉數が昨年比して二割近く減じ料理屋からの支拂も悪るので昨年同様に賦課されれば共倒れの外ないと近く郡下の同業者を糾合して遊興税の減額を要求すべく寄々協議中である

家賃不納告訴

平町紺屋町居住志賀貞右衛門は昨年十月内郷村字一の坪飲



今夜は北西風驟雨あり明日は北東の風晴雲半

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) ラヂオ夕涼み(第六日) 「インクライン」だより 京都インクラインより中継 BK子供サークル 後六、二五「傳説と史蹟を採ねて」(五) 三次怪談(稻生物語) 栗田元次

道を譲らぬとて

前方の運轉手を毆打

平町田町昭和タクシー方運轉手岩原惣助(三)は去る十六日午後六時頃貸切車を運轉し神谷村地内國道を進行中前方を走つて居た平町三丁目片澤自動車店運轉手片澤重雄(三)の車を追ひ越し信号をしても仲々道を譲らなかつたとして片澤運轉手の顔を毆打し全治二週間の傷を負はせたので本日平署に告訴された

笛吹さんの常さん

女給と平町に愛の巢

東京市下谷區入谷町一四五居住笛吹渡邊常雄(三)は本年四月妻子を残して情婦の日活館女給百澤ユリ(三)と行衛を晦し一時石城郡湯本町字八仙百澤八尾吉方に潜伏して居たが其後は平町に住んで居るらしいと妻マキより平署に捜査方を願ひ出した

平職業紹介所報告

回人を求める方 二三名 尋 給料面談(平町某)

明日の部

前六、三〇 趣味の歴史 講座「文明の南遷」(第二講) 鈴木光夫 前七、三〇 夏期ドイツ語講座(十二) 三浦吉兵衛 前八、五〇 野球試合實況「全國中等學校優勝野球大會」(雨天順延) 甲子園球場より中継 前九、一〇 料理献立「鮎料理二種」小野やす子 前一〇、三〇 家庭講座 後〇、〇五 ハーモニカとマンドリン

貸家

此度裏手に新築移轉する事になりました。就きましては従来の店舗をお貸し致しますから、御希望の方は御來談下さい。如何なる商賣にも適します。 平町四丁目三九 新妻文吾

◇在庫品整理の爲め大廉賣致します。

内科一般

醫學博士 難波睦

平町大町新川端 電話五〇二

吉田眼科病院

平町大町新川端 電話六八番



寶井馬琴 演
山本英春 畫

第十九回 血に飢ゆる村正

打たれて歸る兼重
村「ソコで一大事と申すと仰々しいやうでございますが……」

と茲に柳田十平次の一件を物語り

村「先づ當國へ參つて先生のお力を拜借いたし、破落戸の中を尋ねたら段八の潜んで居ないとも限りませぬ、誠に恐れ入りますが宜しく御助力下さるやう、右の段八の人相は是でござる」

と昨夜泊りました宿屋に於て認めました段八の人相書を兼光の前へ差出し、兼光は右の人相書を取上げ暫らく見詰めて居りましたが

兼「村正殿、實に其許は見上げた仁だ、過日資正殿の事に就ても實に感心して居つた、實に義侠に富んで居なさる人、必ず後々は名を揚げて天晴れ銀治職の中にも指折られ多くの人の頭になるべき人だと思ひ、兼光は豫て噂をして居つた位又御身に御覽に入れる物がある之を見られよ」
一通の書面を出し村正に渡す、押戴いて見てあげば、こは如何に恩師正宗の

手蹟、若し其地へ門人村正が罷り越し候節は、我等に代つて宜しく教訓をなし、悪き事は之を避け善き事を勧め、どうか當人の殺氣の抜けるやう、其許のお力を持つて萬事の事を頼む。といふ極短文ではござりますが、弟子



を思ふ正宗から兼光に宛たる依頼の文面、村正はハラハラと涙を流し

村「私の如き者を師匠正宗殿が、斯くまで思ふて下さるとは實に有難き事にござります、我身に比較べて申す譯ではございせんが、どうか此の先右仇討の事を宜しく願ひ申し上げます」
兼「委細承知いたしました、

らば私自身に探りもするが當國には随分義侠に富んだ人も澤山ある事ゆえ、さういふ人に事の次第を打明けて頼んだならば、必ず先に立つて世話を焼いて呉れるであらう、何しろ當分私の處に居なさるが宜しい」
村「有難うござります、どうか何分宜しく願ひます」

備前兼光が請合つて呉れたのは鬼に金棒、おきた菊名の二人は大きに喜び其の厚志を謝し、老人に似合はずまめ／＼しく女中代りに能く働きますから、兼光も氣の毒に思ひ、年を老つてゐなさるから何もし

て呉んなさるんでも宜しいといふが、おきたは決して骨惜みもせず働いて居ります。扱村正は毎日彼方此方を入相書を懐中に入れて探ね歩き、其の人相書に似たる者があると能く見るが、横顔が似てゐるとか、或は眉毛の様子が似て居るとかいふ位で、額に二ツの傷があつて、曠の刺青をして居る者は更に見當りません、スルと茲に備前の國內

で一宮を安神の宮と申しまして、土地の人は大層力を入れて祭禮をいたします。丁度昨日と今日は祭禮の事で大層賑ひでござります。處が兼光の門人に兼重といふ者がありまして、此奴は仕事をするのが大嫌ひで酒が好き、女が好きといふ厄介な代物

兼重「先生只今歸つて参りました、昨夜は明けまして誠に相済みません」
兼光も叱言を言ひ盡して了まひましたから、別に叱りもしない、ニコ／＼笑ひながら茶を喫んでゐる、然るにいつもは酒の氣の失せない男だが、今日に限つて此の兼重が何だか變な顔をして、ボンヤリ致して居ります。何しろ一の宮の祭禮で若衆の中へ入つた姿と見えて目に立ちまする衣類を着て居りますが、處々破れて泥だらけになつて居ります

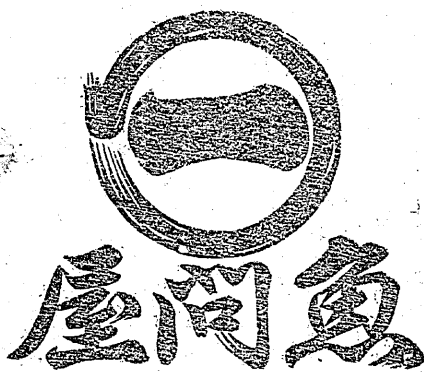
兼光「兼重」
兼重「へー」
兼「昨日今日は祭禮日だから貴様は相變らず酒に酔つていゝ心持になつてゐるかと思つたら、今日は大層静かだな、小遣錢でもなければ俺が遣るから、どうか見苦しくないやうにして呉れよ、どうも業の出来る者は怠惰者と、昔から言傳へてあるが、貴様は俺の家で役に立つ男だから……」
兼重「私は酒を好み、女好きの方では止めやうと言つても止められませんけれども、どんな事があつても

博奕なんぞは以來決して致しません、實は二三人の友達に誘はれて長船の甚九郎さんの博奕場へ参りました處が不圖した事から間違ひが起つて、一人の奴が突然私の頭を打ちやがつたので先生の前にござりますが私は力がありませんから側に居た奴に片ツ端から噛み付きました」
兼「何故そんな悪い事をするんだ」

花柳外科 木村外科醫院

自炊入院の便あり 平町五丁目橋際
電話三九〇

新 鯉節出賣



最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目(電話一三)

玉炭 石炭
平驛前



阿部石炭商店
電話三七番

妊娠を望む方は使用すべからず

阿康藥舖
平古銀治町(電話四四番)

男女安全豫防藥
新發賣 志のぶ錠
しのだ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇の外コシケ、子宮、内膜炎、陰加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事でも即ち〇〇の豫防と治療の二重奏をなします

正木織物店ノ生命也
絹織物、正木織物店へ
開業三十五週年を祝するため
二割引にて大々的勉強御註文に應ず
御註文ノ時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマヌ
平町字新町貳貳番(公園下)

白生地 質織販賣 正木織物店